


<p>【氏名】 遠藤正之 東京都出身、1960 年生</p>	
<p>【現職】 静岡大学情報学部 教授</p>	
<p>【学生へのメッセージ】</p> <p>私は、長年の金融機関の現場と情報システム部門での経験を活かし、社会人大学院生を経て、大学の教員に転身しました。皆様も大学院での学びや他の学生との切磋琢磨を経て、ご自身の強みを伸ばし、未踏の分野に挑戦する力を養っていただくことを望んでいます。また、担当講義で扱う FinTech（フィンテック）は、金融分野でのイノベーションですが、2017 年頃から金融界だけで議論するフェーズから、一般企業経営での活用を図るフェーズになっています。是非皆様と一緒に活用方法を考えていきたいと思ひます。</p>	
<p>【専門分野】金融情報システム、FinTech（フィンテック）、情報システムのマネジメント</p>	
<p>【担当科目】フィンテックと企業経営</p>	
<p>【主な経歴】</p> <p>1983 年早稲田大学政治経済学部卒業。同年三菱銀行(現三菱 UFJ 銀行)に入行し、2015 年 9 月まで 32 年半勤務。うちシステム部に 16 年強在籍し、第 3 次オンライン開発、東京三菱銀行システム統合、三菱東京 UFJ 銀行システム統合等の超大規模プロジェクトに、主に推進マネジメントの立場で参画。2015 年 10 月から静岡大学情報学部准教授、2017 年 4 月から同教授。</p> <p>2011 年 9 月中央大学大学院戦略経営研究科修了(首席)、経営修士(専門職)。</p> <p>2015 年 3 月慶応義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科後期博士課程修了、博士(システムデザイン・マネジメント学)。</p>	
<p>【主な研究業績/社会的活動】</p> <p>『金融情報システムのリスクマネジメント-大規模開発から FinTech まで 6 観点(CORE-OQ)の戦略的適用-』日科技連出版社 単著 (2016)</p> <p>『金融 DX、銀行は生き残れるのか』光文社 単著 (2022)</p> <p>「FinTech が中小企業金融にもたらす影響」日本政策金融公庫論集 第 37 号 単著 (2017)</p> <p>「FinTech に係るリスクについて」日本セキュリティ・マネジメント学会誌 Vol31/No.1 単著 (2017)</p> <p>「金融に係るリスクと最近の動向」安全工学 Vol.56/No.2 単著 (2017)</p> <p>「金融情報システムが経営戦略に与える影響の考察-オンライン証券業界における競争事例-」日本情報経営学会誌 Vol.37No.1 共著 (2017)</p> <p>Startup Weekend 浜松オーガナイザー (運営ボランティア) (2016～)</p>	

[所属学会・団体] 日本情報経営学会、経営情報学会、システム監査学会、国際戦略経営研究学会

[資格・表彰] 情報処理システム監査技術者、日本証券アナリスト協会検定会員、一級ファイナンシャルプランニング技能士